

医療現場ニーズ勉強会（青森 MOT）

【八戸会場】

主催：青森県、(公財)21あおり産業総合支援センター 後援：(一社)日本医工ものづくりコンズ(予定)

本勉強会は、医療現場で活躍する医師や医療スタッフの皆様から、製品開発のアイデアとなる現場での困りごとや課題、開発を進める上で必要な医療現場での基礎知識を伺う機会です。(発表ニーズの概要はチラシ裏面をご覧ください。)

また、東京都文京区本郷エリアの医療機器メーカーや岩手県・秋田県のものづくり企業も参加しますので、当該メーカー等と連携による開発・製造・販売に向けた交流の場にもなります。新分野進出を検討している方、既に医療福祉機器分野に参入している方もぜひ、御参加ください。

- 日時：2018年9月11日(火) 13:30～16:00
- 場所：八戸市立市民病院 2階 講堂（八戸市田向三丁目1番1号）
- 対象：将来に向けて新分野進出を検討している中小企業者、自社技術を活かし、医療福祉機器関連分野へ参入しようとしている中小企業者等

参加
無料

●プログラム(予定)

時間	講義名	講師氏名
①13:40～14:10	基調講演	八戸市立市民病院 院長 今 明秀 氏
②14:10～15:40	ニーズ発表等	
	専門領域の紹介とニーズ	八戸市立市民病院 看護局 主幹 前田 司子 氏 (皮膚・排泄ケア認定看護師)
	専門領域の紹介とニーズ	八戸市立市民病院 リハビリテーション科 主幹 田村 拓也 氏 (理学療法士)
	ニーズ発表	八戸市立市民病院 臨床工学科 伊藤 宏一郎 氏 (臨床工学技士)
③15:40～16:00	名刺交換会	医療関係者、首都圏医療機器メーカー、ものづくり企業等、多職種による名刺交換会

- お申し込み 参加を希望する方は、以下の申込書に記載のうえFAX又は同内容をメールください。
※ご参加の皆様には、「秘密保持に関する申し合わせ」をご提出いただけます。(様式は当方から後日送付)

送信先：21あおり産業総合支援センター 取引推進課 鹿内 行

FAX番号 017-721-2514 メール iryo@21aomori.or.jp

参加申込書 申込期限：2018年9月10日(月)

会社名・団体等			
TEL		FAX	
連絡先のE-mail			
役職	氏名	ご意見・ご質問等(自由記載)	

●お問い合わせ

青森県商工労働部新産業創造課 ライフイノベーション推進グループ 葛西 (電話) 017-734-9420
(公財)21あおり産業総合支援センター 取引推進課 鹿内 (電話) 017-775-3234

ニーズ発表 八戸市立市民病院 臨床ニーズの一例

平成30年9月11日 青森MOT (八戸)

No	診療科	開発するデバイスの種類	デバイス開発の背景 (臨床現場の現状と問題点)
1	看護局	創部の臭いを瞬時に除去する脱臭機	褥瘡等の創部を処置する際に、創部より臭いが発生する。現在は、消臭剤や布などで対応しているが、十分に対応できていない。創部処置の際に使用する脱臭機の開発を希望する。
2	看護局	車イスの座面クッション	車イスに乗って移動する高齢者にとって、現在の座面はクッション性に欠けている。車イスに最初からクッションを設置して安楽に座れるように希望する。
3	看護局	褥瘡創部治療を目的とした栄養状態管理装置	褥瘡創部等の早期治療において、栄養状態の把握は非常に重要である。現在は、摂取カロリー、検査データ等を計算し評価しているが、パラメータ等を入力することで、患者の栄養状態を把握し業務を支援できるデバイス開発を希望する。
4	リハビリテーション科	靴中敷きタイプの荷重コントロールデバイス	現在は、体重計を使用して静的状態の荷重訓練を実施しているが、実際、歩行時など動的状態ではどれだけの荷重されているか疑問である。歩行時に足底の圧をモニタリングできる装置もあるが、非常に高価である。靴中敷きタイプ(インソール式)の簡易な機器で、荷重の程度を調整できれば骨折後の患者には荷重制限に使用、また、片麻痺患者には、荷重訓練に使用が可能であり、安定歩行の獲得に有効と思われる。
5	臨床工学科	ポータブル吸引機	現状の吸引機は、吸引配管を使用した壁掛式が多い。そのため1~2リットルのボトルと太く長いチューブを使用している。患者の側に機器を移動しコンパクトに吸引したい。電動式なら入浴や移動にも使え、場所を限定しない。
6	臨床工学科	IPC 装置	深部静脈血栓症予防対策として、ストッキングと IPC 装置を使用している。現状の機器の動作音とチューブの取り回しが課題である。
7	臨床工学科	FFP 溶解装置	FFP(新鮮凍結血漿)の溶解装置は各種販売されているが、4 バック以上の溶解ができるため装置が大きく価格が高価である。
8	臨床工学科	嘔吐物専用掃除機	ノロウイルス等の感染者が嘔吐した場合に、嘔吐物に近づかず嘔吐物の吸引と消毒を行いたい。
9	臨床工学科	医療用圧縮ゴミ箱	感染症患者には、マスク・帽子・エプロン・手袋などの使い捨て製品が大量に使用されゴミ箱がすぐいっぱいになる。限られたスペースで大量のかさばるゴミを圧縮したい。